

内視鏡センターを拡張しました

聖隷健康診断センター 事務長 福田 訓也

聖隷健康診断センターでは、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）受診に対する利用者様の非常に高いご要望に応えるため、2025年4月に内視鏡センターを4部屋から7部屋に拡大いたしました。既存の内視鏡センターおよび集団指導室を改修しています。

人間ドックの胃カメラオプション検査枠は、一日あたり最大40枠から70枠に。あわせて健康診断での追加検査枠や浜松市在住の方の胃がん検診枠も増加してまいります。

ご希望の日程で予約が取れず大変ご迷惑をお掛けしておりましたが、本改修により幾分の解消が見込めます。もちろん、内視鏡検査の質の維持にも努めてまいります。

多くの利用者様に快適にお過ごしいただけるよう待合室も拡張し、下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）をご利用の方の更衣室や回復室もリニューアルしています。ぜひご利用を検討くださいませ。



第26回保健事業報告懇談会を開催しました

保健事業部 運営管理センター 営業契約課 宮澤 佳那

2025年3月13日（木）、浜松市のえんてつホールにて「第26回保健事業報告懇談会」を“21世紀の健康像を求めて”をテーマに開催しました。今年も、地域を問わず多くの契約団体様に参加いただき、誠にありがとうございました。

保健事業部長 武藤繁貴から「第4期特定健診・特定保健指導開始後の実績及び労働安全衛生法改正の動向について」の講演。さらに、健康経営や従業員様の健康増進に関する事例発表の時間を設け、浜松いわた信用金庫 ダイバーシティ推進課 生熊様、ホトニクス・グループ健康保険組合 川村様より取り組みの発表をいただきました。また、特別講演として、浜松市リハビリテーション病院 病院長 昆博之医師から「脳の理解から考える就労支援」について講演をいただきました。



日頃から保健事業部をご利用いただく皆さまに深く感謝を申し上げます。今後とも満足いただける健康診断・人間ドック等を提供できるよう努めてまいります。引き続き、ご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「なんとなく不調」を放置していませんか？ プレゼンティーズムと健康経営

聖隷労働衛生コンサルタント事務所 吉口 ゆき

「プレゼンティーズム」とは

世界保健機関（WHO）が提唱する労働生産性を表す指標で、「出勤しているものの健康問題が理由で生産性が低下している状態」のことです。「健康問題による仕事の欠勤」を意味するアブセンティーズムよりも損失が大きいといわれており、健康経営を推進する中でのキーワードとして注目されています。



プレゼンティーズム
Presenteeism: 疾病出勤



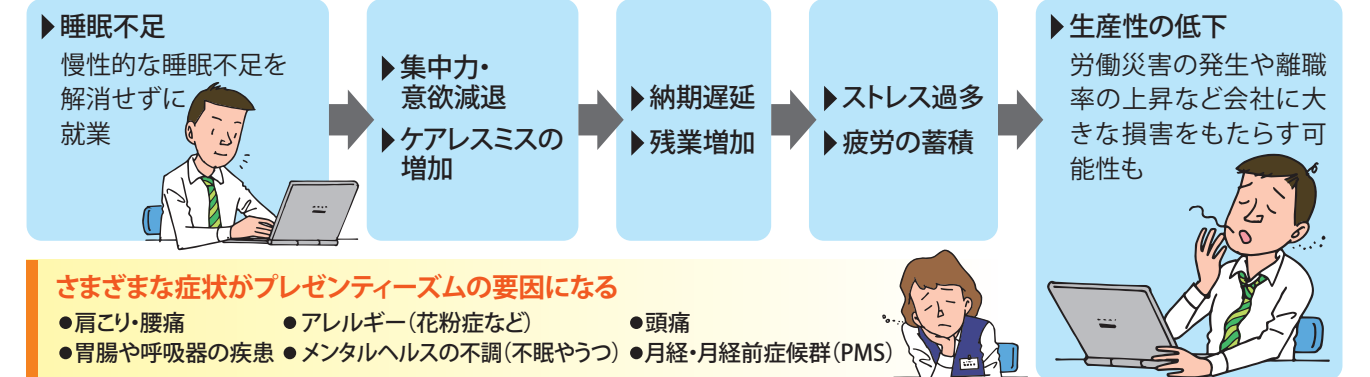
アブセンティーズム
Absenteeism: 欠勤・休業

健康問題による労働生産性損失額
従業員1人あたり76.6万円／年との試算あり

内訳	プレゼンティーズムによるコスト	73.0万円
	アブセンティーズムによるコスト	3.6万円

出展：横浜市第3回よこはま健康経営会議
「横浜市のすすめる健康経営」

プレゼンティーズムの例



健康経営の推進

プレゼンティーズムへの早めの対策を行うことで、従業員の健康を守り生産性を維持できます。

個人・組織の対策

企業ができる対策

- 職場環境を整える
- 労働時間管理の徹底
- 従業員の健康リテラシーを高める
- 相談しやすい環境の整備 など

個人ができる対策

- 生活習慣の改善
- 早めの受診
- 周囲への相談 など

保健事業部の支援

保健事業部では働く人が最大限のパフォーマンスを発揮し健康で働くために健康支援サービスを提供しています。

サービス例

- 健康に関する情報発信
- 健康課題の抽出
- 保健指導
- 高ストレス者面談
- 健康セミナーの実施

事業所の健康づくりや健康経営®の推進に、保健事業部の健康支援サービスをご活用ください。

労働衛生・産業保健に関するお問合せ

聖隷労働衛生コンサルタント事務所

- 労働衛生担当 ☎ 053-475-1229
- 産業保健担当 ☎ 053-473-5529
- ▶受付時間（祝日除く）…月～金曜日 8:30～17:00

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。